

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 5 日作成)

| | | | |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名 | 力学的感性小委員会 | | 主 査 名：新宮清志 就任年月：2011 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 応用力学運営委員会 | | 委員長名：中島正愛 主 査 名：高田毅士 |
| 設 置 期 間 | 2011 年 4 月 ～ 2014 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>「構造力学センスの涵養」「意匠設計者向け力学センス涵養」を議論の中心に据えた基礎資料の出版。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度：出版物の目次案作成および執筆要綱作成 ・2 年度：原稿作成、査読 ・3 年度：出版およびシンポジウム開催 | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | 主査：新宮清志 (日本大学) 幹事：山田耕司 (豊田工業高等専門学校)・近藤典夫 (日本大学) 委員：朝川 剛 (日建設計)・朝山秀一 (東京電機大学)・小嶋英治 (小嶋英治技術士事務所)・佐藤 淳 (佐藤淳構造設計事務所)・高島秀雄 (金沢工業大学)・辻 聖晃 (京都大学)・堤 和敏 (芝浦工業大学)・西村 督 (金沢工業大学)・諸岡繁洋 (東海大学)・山崎光悦 (金沢大学)・片迫幹男 (日本設計)・宮里直也 (日本大学) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 力学的感性出版準備WG ：出版に関する準備作業を行う。 | | |
| 2011 年度予算 | 70,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： | |

| 項 目 | 自 己 評 価 |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数 | 5 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. 力学的感性に関するシンポジウム 参加者数 37 名 『同名資料』 * 東日本大震災による2011年3月16日からの延期開催 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. ほぼ達成しているが、作業が多少遅れ気味である。 2. 『建築技術』2012 年 2 月号 p.203 において、上記シンポジウムの内容紹介を行った。これは、雑誌社からの依頼に基づくものである。また、『鉄構技術』2012 年 1 月号 p.17 において、同シンポジウムの内容紹介が行われた。これらは、当初の予定にはなかったことである。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 委員会開催日程が委員全員の都合と合わない等の理由が考えられるが、1 回も出席していない方がおられる。 |